

2008年1月8日

大分市長 釘宮馨 殿

大分駅周辺整備事業を考える会
代表 浜松昭二郎

大分駅南地区の防犯対策についての申し入れ

(要望趣旨)

大分駅周辺総合整備事業の進捗にともない、災害・防犯対策、移転・住宅確保、生活利便などの問題について、これまで、関係住民からたくさんの要望が寄せられ、そのつど改善を求めてきました。

さて、昨年12月26日未明、金池南2丁目で発生した、待ち伏せ強盗事件を契機に、防犯対策に対する、関係住民の間に不安の声が広がっています。

「警察の聞き取り調査があり、驚いている。近所でこんな事件が発生し、身の危険を感じる」「街路灯や防犯灯が少なすぎる、いまの現状では、またこのようなことがおきるのではないか心配でしょうがない」「暗くなったら一人ではあるけない。年寄りにはよけい不安だ」などの声です。

つきましては、関係住民の不安解消のために、下記事項について、県当局とも緊急にご検討いただき、善処していただくよう強く申し入れいたします。

記

- 1、市管理の大道・金池線、金池・桜ヶ丘線、県管理の庄の原・佐野線に街路灯を早期に設置していただくこと。
- 2、区画街路の防犯灯整備計画を早期に実施に移すための協議を始めること。

以上